

つくば・TX
沿線版

梅林でパズル楽しむ

筑波学院大生 クロスワード大会企画



梅まつりクロスワードパズルを楽しむ観梅客。つくば市沼田の筑波山梅林

つくば市沼田の筑波山梅林で13日、筑波学院大生らの企画したクロスワードパズル大会があり、観梅客が散策を楽しみながら筑波山の豆知識を問う問題に取り組んだ。開催中の筑波山梅まつりのイベントの一環。参加無料で、14日も行われる。

「若者の力で梅まつりを盛り上げよう、若者をもっと呼び込もう」と、学生とつくば観光コンベンション協会が協力して開いた。参加者は梅林内10カ所に取り付けられた問題文を探し出し、制限時間内にパズルを解けば景品を受け取れる。利根町から訪れた50歳代と60歳代の夫婦は、「おもしろい。ただ梅を見るよりも、問題を

探して歩くといろいろ見られる。問題のある場所が難しかった」と感想を話した。

クロスワード大会の実行委員長を務める筑波学院大3年太田あかりさん（21）は「梅林はとてもきれいで見応えがある。観梅が盛り上げれば、もっと筑波山を大事にしようという気持ちも湧くのでは」と期待した。学生は同大独自の学生会参加プログラムOCOPの学生スタッフら6人と、筑波大生1人が企画運営などに協力している。昨年はビンゴ大会を開催。今年は当初、出合いイベントを計画したが、参加者不足に伴い企画を切り替えたという。

（橋本ひとみ）